

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
クレディ・スイスGTAAファンド（愛称：CSアルファ）は、2016年2月22日に第20期の決算を行いました。

当ファンドは、CS GTAAファンドを含む複数の投資信託への投資を通じて、実質的に世界の株式、債券、通貨に投資を行うことにより、中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。なお、株式、債券、通貨の投資については先物取引等を活用します。

当期も方針に沿った運用を行いました。ここに運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

# Aberdeen

## クレディ・スイスGTAAファンド （愛称：CSアルファ）

追加型投信／海外／資産複合

### 交付運用報告書

第20期

決算日：2016年2月22日

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

本書記載事項以外の詳細な内容を記載した運用報告書（全体版）は当社ホームページ（右記アドレス）でご覧いただけます。

書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

右記ホームページの左端にある「ファンド情報」のメニューから「運用報告書」を選択することにより、当ファンドの運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

第20期末 (2016年2月22日)	
基準価額	8,630円
純資産総額	1,044百万円
作成対象期間 (2015年8月21日～2016年2月22日)	
騰落率 (分配金(税引前)再投資後)	△3.2%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### アバディーン投信投資顧問株式会社

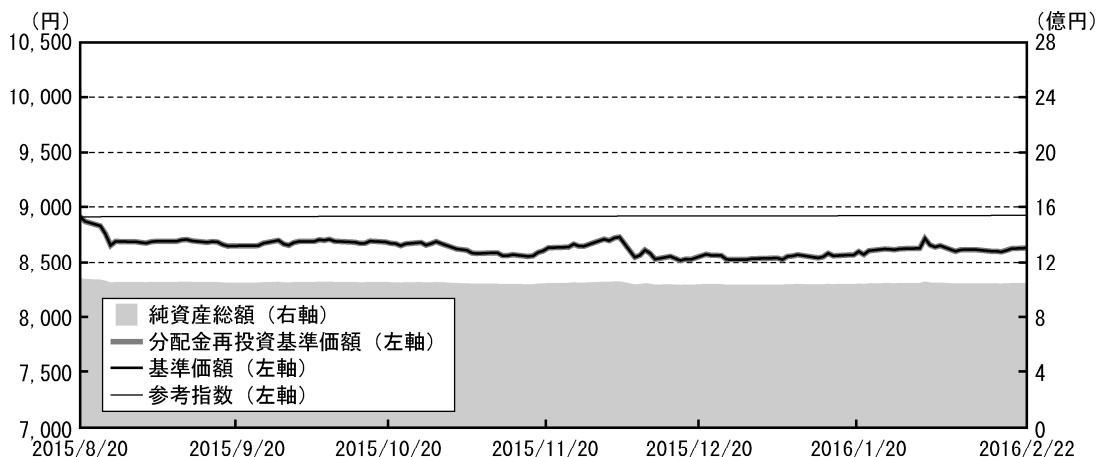
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル  
お問い合わせ窓口 03-4578-2251

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)  
インターネット・ホームページ <http://www.aberdeen-asset.co.jp>

## ●運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

ファンド	当ファンドは第20期の決算を迎え、基準価額は前期末の8,912円から当期末には8,630円、値下がり額は282円、当期の騰落率は3.2%の下落となりました。
参考指数	適した指標が存在しないためベンチマークは設けておらず、参考指数としている1ヶ月円LIBORとも主要運用対象が異なるため、参考指数との比較はありません。



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は設けていませんが、参考指数として、『1ヶ月円LIBOR』を記載しています。上記の参考指数は基準日前営業日の終値を採用し、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

第20期首	8,912円
第20期末	8,630円（既払分配金(税引前)0円）
騰落率	△3.2%（分配金(税引前)再投資ベース）

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因	C S G T A Aファンドにおける債券のロング・ポジションが世界的な利回りの低下に伴い、基準価額の上昇要因になりました。
下落要因	僅かにロングとしていた株式のポジションと、やや米ドルに対してショートしてきた為替のポジションからマイナス寄与となりました。

## 1口当たりの費用明細

項目	第20期 (2015年8月21日～ 2016年2月22日)		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
平均基準価額	8,643	—	期中の平均基準価額です。
信託報酬	33	0.382	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(委託会社)	( 12)	(0.139)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 19)	(0.220)	情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.023)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	6	0.069	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 6)	(0.069)	監査費用は、監査法人に支払うファンド監査に係る費用
合計	39	0.451	

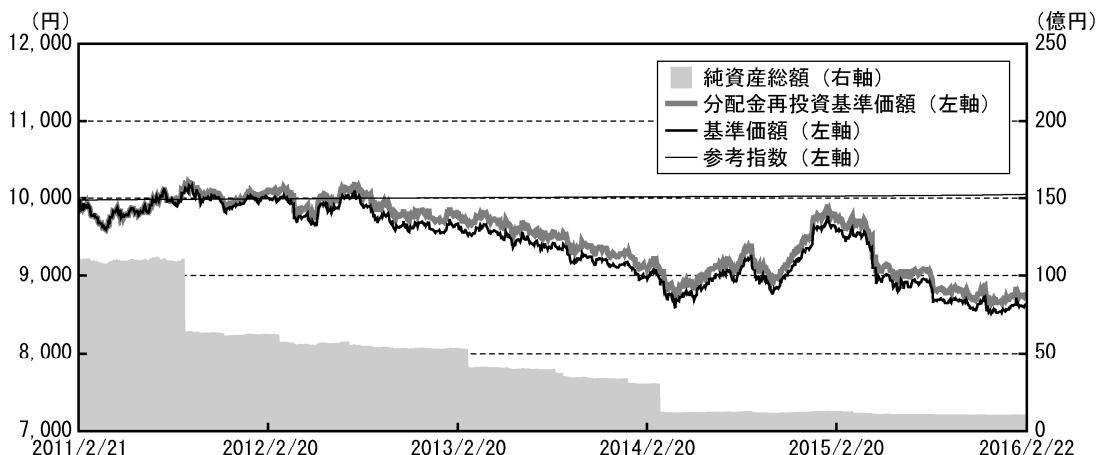
(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託受益証券等が支払った費用を含みません。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は設けていませんが、参考指数として、『1ヶ月円LIBOR』を記載しています。上記の参考指数は基準日前営業日の終値を採用し、2011年2月21日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

## 最近5年間の年間騰落率

決算日	2011年2月21日	2012年2月20日	2013年2月20日	2014年2月20日	2015年2月20日	2016年2月22日
分配落ち基準価額（円）	9,978	10,003	9,660	8,996	9,580	8,630
期間分配金合計（税引前）（円）	—	100	50	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	1.3%	△2.9%	△6.9%	6.5%	△9.9%
参考指数騰落率	—	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
純資産総額（百万円）	11,225	6,251	5,361	3,022	1,254	1,044

## 投資環境について

株式市場は、2015年8月に中国人民元の切り下げを機に急落し、9月にかけて軟調でしたが10月には追加金融緩和が欧州で期待され、中国では決定されたことで世界景気への安心感が回復しました。パリ同時テロや原油価格の下落などにより年末にかけては再び低迷し、2016年初からは中国上海市場の急落に端を発した世界株式不振が続きました。

債券市場は、2015年10月の米国雇用者数で27万人と大幅な伸びとなり米国の利上げを意識してやや利回りは上昇気味ではありましたが、2016年1月からは株式市場の混乱に伴って急低下となりました。

為替相場は、2015年後半は米国の利上げを意識した米ドル高で推移しましたが、年明けの1月末に日銀がマイナス金利を導入すると円は一時の下落からその後に急騰し、米国利上げが遠のいたとの思惑から米ドルも弱含みしました。

## ポートフォリオについて

当ファンドでは、CS G T A Aファンドを中心に組入れており、当ファンドの運用成果にはCS G T A Aファンドの運用成果が大きく反映されます。CS G T A Aファンドは独自のクオンツ・モデルに基づき割安な資産をロング、割高な資産をショートします。また、いくつかの投資テーマおよび各々のファクターで構成されるG T A Aモデルを利用し、投資テーマやファクターのウェイトについては市場環境に応じて随時見直しや調整を行いながら最適化を目指しています。このところ各国のマクロ経済の違いが株式・債券・為替相場に反映されにくくなったことなどから、当期からはこれまで投資テーマのひとつとしていたマクロ・ファンダメンタルのウェイトをゼロとし、実質的には投資テーマから外すなどレティブ・バリュー・プログラム、トレンド・フォロー・プログラム、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルを主要な3つの投資テーマとして運用を行いました。

2015年7月にファクターを見直して以降、当期は株式、債券、為替は概ね前期末のポジションを維持してきました。株式は期初にネット・ロング幅を約10%まで縮小し、為替は引き続き30-50%程度のネット・ショートとし、債券は世界的な利回り低下で利益を上げる過程においてネット・ロング・ポジションを期初からの80%程度で推移させました。

## 参考指数との差異について

適した指標が存在しないためベンチマークは設けておらず、参考指数としている1ヶ月円L I B O Rとも主要運用対象が異なるため、参考指数との比較はありません。

## 分配金について

基準価額の水準等を勘案し、第20期末の収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し、留保金の運用については、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳 (単位：円・%、1口当たり・税引前)

項目	第20期 (2015年8月21日～2016年2月22日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	133

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## ●今後の運用方針について

当ファンドの主たる投資対象であるCS G T A Aファンドについては、引き続きクオンツ・モデルによってグローバル市場をさまざまなファクターに基づいて分析し、割安と見られる資産をロング、割高と見られる資産をショートしていきます。クレディ・スイスG T A A戦略の鍵となる特徴は、経済状況の変化に対する適応能力です。同投資戦略におけるファクター・ウェイトは、ダイナミックな統計的手法による予測力を基準として変更されます。このようにして、市場環境の変化を期待リターン及びリスクへ適切に反映させる方針です。市場環境によって個々のファクターの有効性が大きく変動する、もしくは中長期で見たモデルの有効性が低下していく可能性はありますが、G T A Aコア戦略に加えて導入されたレラティブ・トレーディング・アービトラージ（R T A）戦略により投資対象市場が拡大するとともに、ファンダメンタル指標だけでなく市場の値動きを捉えるテクニカル指標に基づいた短期的な売買が可能となっています。当ファンドのリスクについて現状では6%程度としており、中長期的な実現ベースの目標水準に達しているため、当面は同程度で推移させる予定です。

## ●お知らせ

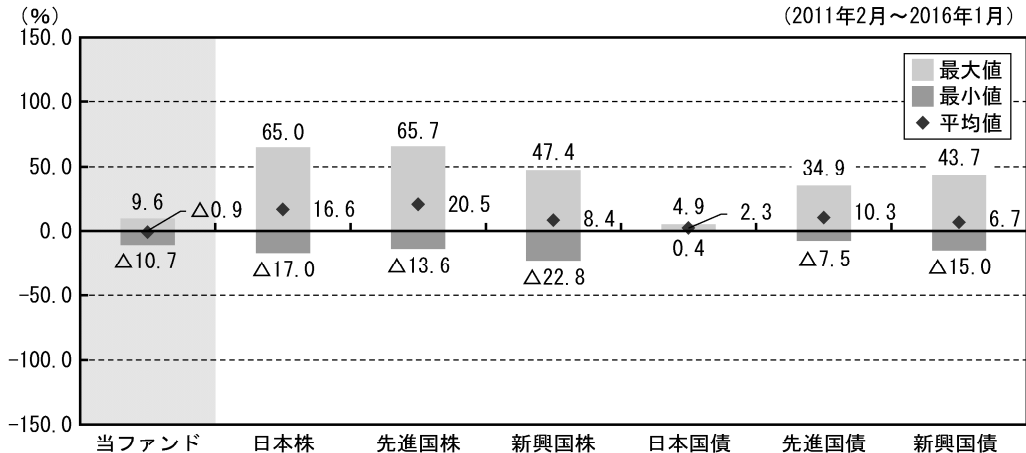
該当事項はありません。

## ●当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	複数の投資信託への投資を通じて実質的に世界の株式、債券、通貨に投資を行うことにより、中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	組み入れる複数の投資信託により世界の株式、債券、通貨に実質的に投資します。なお、株式、債券、通貨の投資については先物取引等を活用します。
当ファンドの運用方法	①投資信託への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月20日および8月20日）に、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。

## ● 参考情報

### 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



\*2011年2月～2016年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したとみなす分配金再投資基準価額により計算され、実際の基準価額に基づく騰落率とは異なる場合があります。騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

#### \*各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債・・・シティ日本国債インデックス
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

注：海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 「東証株価指数（TOPIX）」に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、「TOPIX」の算出もしくは公表の停止または「TOPIX」の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」および「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「シティ日本国債インデックス」および「シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）」は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）」とは、J.P.Morgan Securities Inc. が算出し公表している指数です。当指数の著作権は、J.P.Morgan Securities Inc. に帰属します。

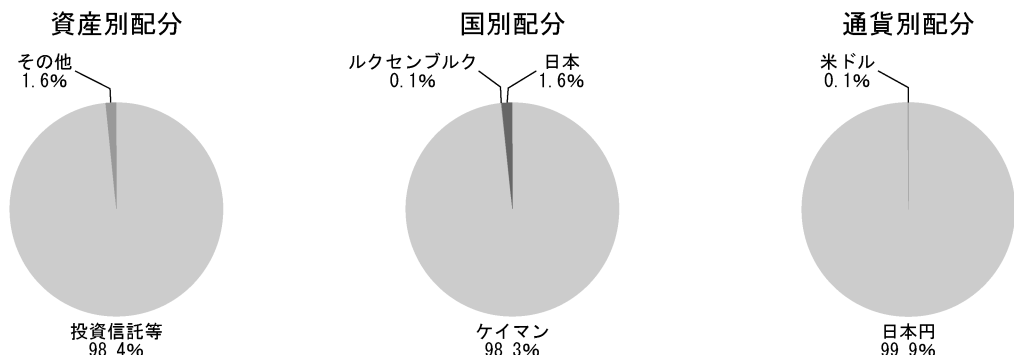
## ● ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### 組入ファンド

クレディ・スイスGTAAファンド（愛称：CSアルファ）	比率%
CS GTAAファンド	98.3
アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドル	0.1
コール・ローン等、その他	1.6

#### 種別配分等



(注1) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンドの直近の決算日である2016年2月22日現在のものです。

(注2) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### 純資産等

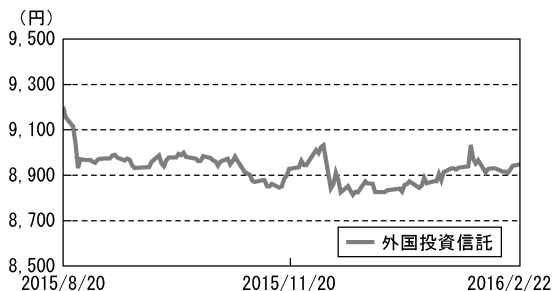
項目	第20期末 (2016年2月22日)
純資産総額(円)	1,044,245,997
受益権総口数(口)	121,000
1口当たり基準価額(円)	8,630

(注) 当期における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。



## 組入上位ファンドの概要

### ◇CS GTAAファンド 基準価額の推移



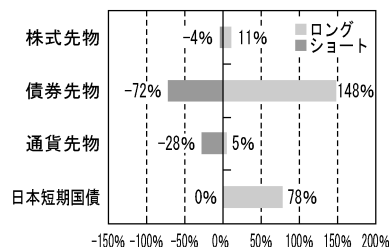
### 組入上位10銘柄

組入銘柄数：1

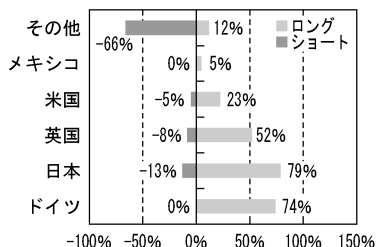
	銘柄名	国名	種別	組入比率
1	JAPAN T-BILL 0 21NOV16 SER571	日本	債券	77.3%
2				
3				
4				
5	※現物資産ポートフォリオは、日本短期国債、現金、証拠金です。			
6	実質的な運用は種別配分等にある各資産の先物を活用します。			
7				
8				
9				
10				

### 種別配分等

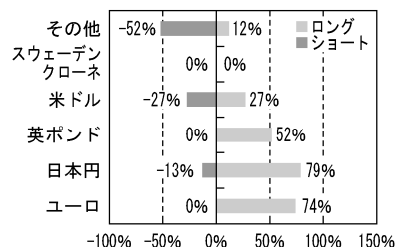
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンド決算の直近の月末である2016年1月末のものであります。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の各比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 基準価額の推移は当ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注4) 種別配分等は、各先物のポジションを含んだ実質的な運用ファンドのポートフォリオ内容となっています。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

### 費用明細

当該外国投資信託において、運用資産総額に対し年率約0.535%が運用報酬および投資顧問報酬としてかかります。加えて、純資産価格がハードルバリューを上回った場合に、その超過額の20%程度に発行済み受益権口数を乗じた金額が、成功報酬として別途かかります。ハードルバリューの詳細につきましては運用報告書(全体版)をご覧ください。

その他費用として保管費用や受託費用等がございますが、当期にかかる費用の明細は外国投資信託のため開示できません。2014年9月期決算におけるその他費用の実績は年率約0.80%となっています。詳細につきましては運用報告書(全体版)で当該期間をご確認ください。